

令和元年度岡山県障害者施策推進審議会・岡山県自立支援協議会
岡山県障害者差別解消支援地域協議会・議事録（要旨）

- 1 日 時 令和2年1月29日（水）
14：00～15：45
- 2 場 所 ホテルメルパルク岡山3階「芙蓉」の間
- 3 出席委員 村社会長、石田委員、石原委員、伊山委員、岡野委員、小川委員、奥山委員、
片岡委員、河相委員、高橋委員、竹内委員、徳弘委員、中島委員、難場委員、
藤井（操）委員、藤井（真）委員、藤田委員、福田委員、本田委員、薬師寺委員
以上20名（※4名欠席）

4 議事概要

（1）障害者差別解消の推進に向けた取組状況等について

委員）下肢障害がある者としても、ラウンドアバウト交差点は、車が止まってくれるのか心配だ。
このような問題があることを国に提案してほしい。

委員）難病の受給者証について、十分に知られていない。県において、受給者証の広報・周知を
してほしい。

委員）難病のある人の就労について、雇用主に理解があっても、職場での周りの人の理解が得ら
れず仕事が続けられない人は多い。仕事を続けられる職場環境を整える施策を考えてほしい。

委員）過眠症の人は、昼間、仕事中に眠気が来ることがあるが、周囲から怠けていると思われて
しまう。過眠症であることを周囲に示すカードのようなものを、国等の公的機関で作ってもら
えるよう働きかけてほしい。

（2）岡山県障害者計画、岡山県障害福祉計画・岡山県障害児福祉計画に係る次期計画について

委員）計画策定にあたっては、その基礎となる障害者の実数をしっかり把握してほしい。

委員）計画策定において、障害のある高齢者についての具体的な施策を検討してほしい。

（3）岡山県障害者自立支援協議会専門部会の活動について

委員）働く障害者が、自分の特徴、アピールポイント、希望する配慮等を記載し、雇用主、同僚、
上司などと共有する就労パスポートができたが、今後も国、県から情報があれば紹介してほし
い。

委員）発達障害が3つの部会のうち、就労部門にしか出てこないのはどうなのか。学校教育との
連携が大事である。機関連携に関する専門部会があってもよいのではないか。

委員）就労について、定着支援サービス事業所の充実、障害者就労・生活支援センターの充実な
どが課題である。